

JIDAI

未来の福祉業界に夢と希望を創る



ごあいさつ

2025年度、広島県社会福祉法人経営青年会の会長を務めさせていただくことになりました藤本です。

経営青年会は、1998年より、広島県下の社会福祉法人に所属する若手職員の資質向上、経営に関する研究及び研修並びに会員相互の交流を図るための事業を行うことを目的として発足しました。また、広島県の明日を担う福祉人が切磋琢磨しながら若手の福祉人同士が繋がり集う場としても活動しています。

私たちを取り巻く社会は、人口減少や人材不足、地域のつながりの変化など、決して平坦な道ではありません。しかし、だからこそ私たち青年世代が一歩前に踏み出し、新しい時代を切り拓いていく責任とチャンスがあると感じています。

経営青年会は、同じ立場にある仲間が率直に語り合い、互いの挑戦を後押しできる場です。今年度の方向性と取組みでは「社福人としてのコンピテンシーの向上をポイントに置き、これまで培ってきた『つながり』をより強化すべく、引き続き『青年会の魅力』の発信していくことを目指す。」を掲げ、研修の企画や広報活動に取り組んでいます。また、会員の知恵や経験を共有しながら、未来の福祉の形を自分たちの手で描いていきたいと考えています。

広報紙「JIDAI」もまた、私たちの思いや挑戦を広げる大切な媒体です。ぜひ多くの方に読んでいただき、共感や新しい気づきが次の一步につながることを目指しています。そして、より多くの人と繋がり、助け合い、成長できることを願っております。

広島県社会福祉法人経営青年会 会長 藤本達也

経営青年会とは

経営青年会は、広島県内の社会福祉法人に所属する若手職員が、未来の福祉経営を担う力を育むための学びと実践のコミュニティです。

「福祉×経営」の視点を持った人材の育成を目的に、1998年の設立以来、広島県社会福祉法人経営者協議会および全国社会福祉法人経営青年会と連携し、各種事業を行っています。

入会のメリット

◆AI・DXを超える「人」の力

ICT・DXの活用が進む現代、福祉の質を高めるにはテクノロジーだけでなく、“人が人を支える力”が不可欠です。経営青年会では、デジタル技術を正しく活かしながらも、AIには代替できないホスピタリティや専門性といった、人ならではの支援のあり方を学び合います。

◆人材育成と満足度向上

「働く人の幸せ」が良い支援の原点。ES向上やウェルビーイング経営にも取り組み、若手職員が学び・つながり・発信できる機会を提供しています。

◆学びと交流の場が広がる

実践的な経営研修、ICT・DXの導入事例、他法人との交流、全国ネットワークとの連携など、多彩な学びが現場での実践に直結します。

発行：広島県社会福祉法人経営青年会

広島県社会福祉法人経営青年会事務局

〒732-0816 広島市南区比治山本町 12-2

広島県社会福祉会館内

TEL 082-254-3416 FAX 082-256-2228

【人材育成委員会】

人材育成委員会では広島県社会福祉法人経営青年会の「じだいをつくる、じだいをつなぐ、共に…」をスローガンに研修や情報交換の場を企画・運営しています。

人材育成は、福祉業界が抱える構造的な課題と、未来志向の組織づくりに不可欠な意義があります。少子高齢化により介護・福祉人材の確保が一層困難になる中、限られた人材で質の高いサービスを提供し続けるためには、経営に関わる人材の育成が必要です。加えて、ICT や福祉テクノロジーの進展、業務のデジタル化など新しい知識・技術への対応力が求められています。

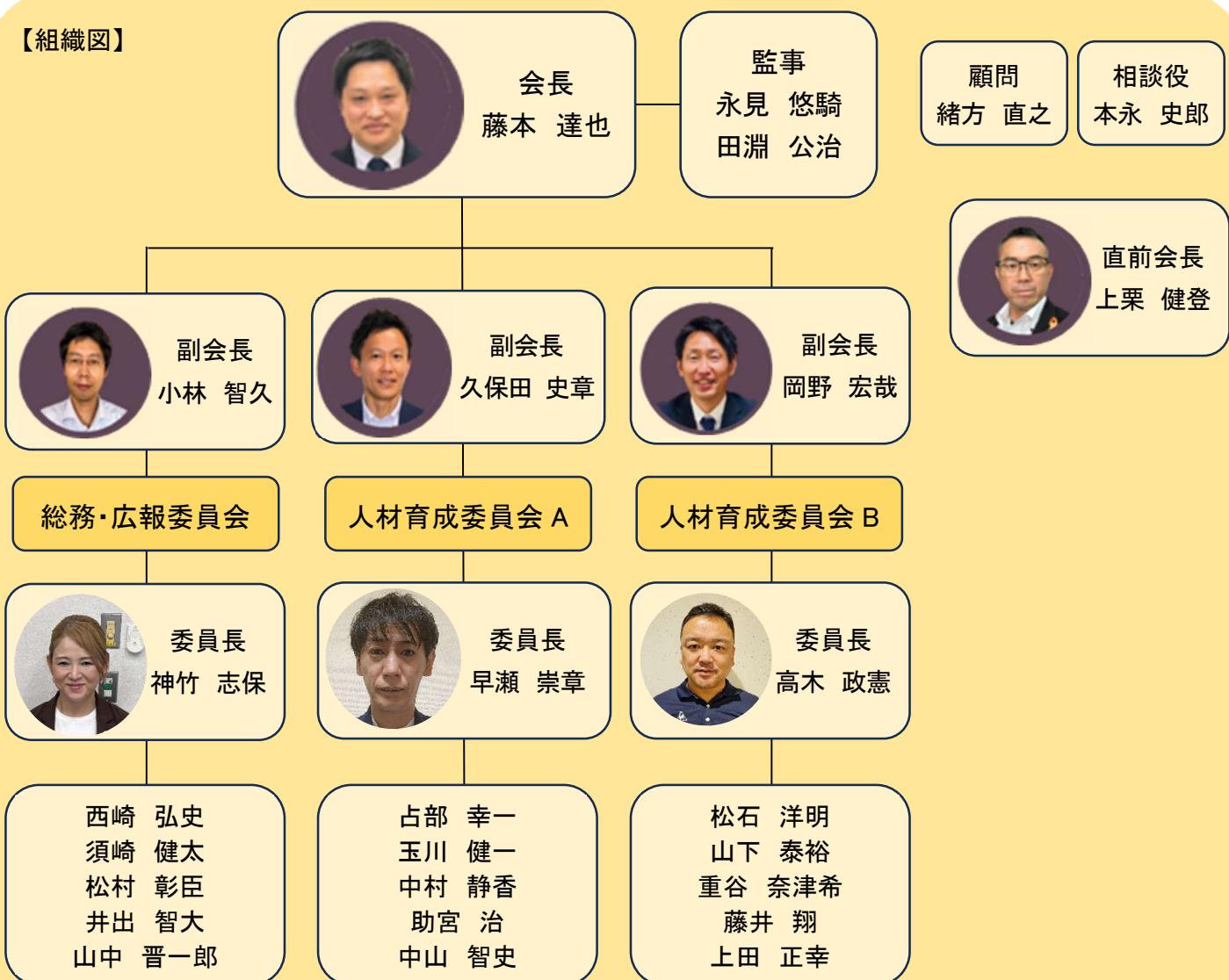
このような課題を解決することができるよう、時代のニーズをとらえた実りある研修を提供していきますので、会員の皆様だけでなく、社会福祉法人に所属する時代を担う若手の皆さんも研修会への参加をお待ちしております。

【総務・広報委員会】

昨年度末の総会時、ある卒会会員の方がとても印象に残るお話をされていました。「青年会は失敗してもいい場所です。ここでたくさんの経験をして、自法人に持ち帰り、活かしてください」。文面通りの言葉ではないですが、このような内容を話されていました。青年会は懐が深い集団だなと感心しました。

我々も不慣れなことも多いですが失敗を恐れず、青年会の魅力が広く伝わるよう、委員会の仲間と協力しながら活動してまいります。

【組織図】



研修

第1回総会

令和6年度の事業報告および決算報告が無事に可決承認され、また2名の新入会員を迎えることができました。続く第1回研修会では、石川県白山市の社会福祉法人佛子園が実践する“ごちゃやまぜ福祉”について学びました。佛子園は、「福祉を日常に」という考え方のもと、障害の有無や年齢、立場を超えて誰もが自然に関わり、役割を持って共に暮らせる地域づくりを目指しています。

具体的な取り組みとして、就労継続支援事業所が質の高いレストランや温泉施設、駅清掃業務などを展開し、地域住民が利用したくなるサービスを提供することで、福祉利用者(工賃)のやりがいと収入向上を実現しています。特に、廃寺を再生した温泉施設「西圓寺」は、福祉らしさを排した空間づくりで地域住民に無料開放され、清掃業務をB型事業所が担うことで、住民と福祉利用者の自然な交流の場を創出しています。

また、能登半島地震の際には、迅速に物資支援を行い、仮設住宅に“コミュニティ拠点”を設置し、障害福祉サービスを活用した飲食店運営と住民雇用を行うなど、災害時にも福祉の力を活かした支援を展開しています。

本研修を通じて、福祉が地域づくりの核となりうること、そして“ごちゃやまぜ”の中にこそ、互いに支え合う力が生まれることを深く学びました。今回の学びを活かし、当地域でも一人ひとりが役割を持ち、共に支え合える社会づくりに努めてまいります。

なお、今回の情報交換会は、世界遺産の原爆ドーム傍にあるCaffe Ponte ITALIANOにて執り行われました。



第2回研修会

第1部:広島県の医療介護福祉行政について

広島県健康福祉局長の北原加奈子氏が講演しました。

- ・課題: 少子高齢化に伴う制度改革の必要性、医療・介護需要の拡大、要介護認定者数の増加、そして福祉人材の確保・定着の困難さが強調されました。広島県内でも地域による人口減少の差が大きく、無医地区や小児科医不足といった医療課題も指摘されました。
- ・対策: 地域包括ケアの深化、人材確保、デジタル技術の活用、社会福祉連携推進法人の仕組みの活用、および介護DXによる業務の質向上が、柔軟かつ効率的な体制づくりのために不可欠とされました。

第2部:地域共生社会の実現をねらいうち江田島市の社会福祉法人誠心福祉会から、三王弘樹氏と西崎大助氏が登壇しました。

・実践事例: デイサービスの建て替えを機に、ご利用者が楽しめる活動として山本リンダの「狙いうち」を使ったダンスを導入。

・効果: 歩行機能の改善、交流の活発化、生活意欲の向上といった利用者への多方面な効果に加え、職員の健康にも良い影響をもたらしました。

・地域への波及: この活動は家族や住民を巻き込み、地域サロンや認知症カフェへと広がり、地域ぐるみの健康づくりとして高い評価を受けました。



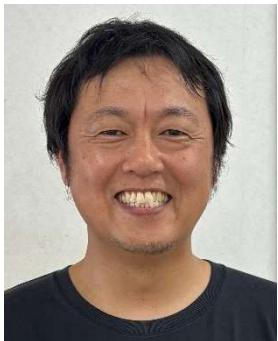
新人紹介



①法人名：社会福祉法人 静和会
②事業所名：福祉交流館パレットせいわ 総合事務所
③役職：課長
④名前：大倉 寛之
⑤フリガナ：オオクラ ヒロユキ
⑥会員コメント：このたび、広島県社会福祉法人経営青年会に入会させていただくこととなり、大変光栄に思っております。地域福祉の発展に貢献できるよう、諸先輩方から多くを学び、積極的に活動に参加してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。
⑦理事長コメント：これから、仕事の質をより高めていくためにいろんな人と出会い様々な見聞を広めるとともに、社会福祉法人の経営ノウハウ等情報交換しながら自己啓発に取り組みキャリアアップを目指してほしい。



①法人名：社会福祉法人 慈光会
②事業所名：上安慈光園訪問介護事業所
③役職：副主任
④名前：吉村 小春
⑤フリガナ：ヨシムラ コハル
⑥会員コメント：訪問介護の仕事に従事しています。介護の現場での仕事、利用者のケア、事業所内の業務、ICT化、そして人間関係と、多岐にわたる課題に向き合いながらの日々です。改善したいことがたくさんあります。研修会など活動を通して垣根を超えたつながりを持ち、多くのことを学び、仕事に活かしたいと思っています。
⑦理事長コメント：訪問介護事業所の責任者として2年目を迎え、利用者支援からチーム運営まで真摯に取り組む姿勢が高く評価されている職員です。経営青年会は、福祉の分野を超えて多様な立場で活躍する若いリーダーたちが集い、学び合い、支え合う交流の場です。会員同士のつながりを大切にし、互いに刺激を受けながら共に成長していくことを期待しております。



①法人名：社会福祉法人 にここに福祉会
②事業所名：就労継続支援 A型事業所 にここに会
③役職：管理者
④名前：有永 崇道
⑤フリガナ：アリナガ タカミチ
⑥会員コメント：皆さん、はじめまして。このたびご縁をいただき、経営青年会に入会させていただきました有永崇道と申します。現在、社会福祉法人にここに福祉会 にここに会(就労継続支援 A型)にて管理者をしています。まだまだ未熟な点も多いですが、いろんな方との交流を通して、楽しみつつ学んでいきたいと思っています！気軽に話しかけていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願ひいたします。
⑦理事長コメント：次世代を担う人材を育成するためにも、他法人の人々と情報交換することでモチベーションアップとキャリアアップをはかってもらいたい。また、福祉分野にとどまらず他業種の人々とも交流し、将来の福祉のあり方をも見据えて、見聞を深め視野を広げてもらえる事を期待しています。

広島県社会福祉法人経営青年会では、50歳以下の福祉人仲間を募集しています。

興味のある方、ご法人様からのお問合せをお待ちしております。♪

編集・製作・発行：広島県社会福祉法人経営青年会 総務広報委員会

